

「宮崎県発達障がい者支援計画（素案）」に対する意見募集の結果について

No.	該当ページ	御意見の要旨	県の考え方・素案への反映状況等
1	14	<p>後方支援のためのコーディネーター等の配置も必要だが、現場の教師の質向上が重要である。学校組織側にソーシャルインクルージョンやダイバーシティの視点が必要と考える。</p>	<p>ご指摘のあった多様性や包摂性の視点をもった学校風土の醸成は大切であると認識しております。そこで、チーフコーディネーターやエリアコーディネーター等の専門性を活かした巡回支援や、市町村の課題に応じたエリア研修を実施し、学校の支援体制や教職員の専門性の向上に努めております。</p> <p>また、令和5年度より、通常の学級における指導や支援の質の向上を図るため、エリアコーディネーターの巡回支援の内容をまとめたユニバーサルデザインの視点を取り入れた「分かる！」「できる！」学校全体で取り組む授業の土台づくりを全ての小中学校の通常の学級担任に配付するとともに、ハンドブックを活用した研修を実施しております。さらに、各学校における校内支援体制強化の一手法として、児童生徒の目標となる行動を認めて増やしていくスクールワイドPBSの普及に努めており、導入した学校では成果が見られております。</p> <p>併せて、今年度から3年間をかけ、特別支援教育の担当者のみならず管理職も含めた全ての教職員が、キャリアに応じて、必要なときに必要な内容の研修を受けられるように、オンラインを活用し、動画コンテンツ等を利用するなど、受講しやすさにも配慮した体系的な研修を構築し、全ての教職員の特別支援教育に関する専門性や指導力の向上を図ることとしております。</p>